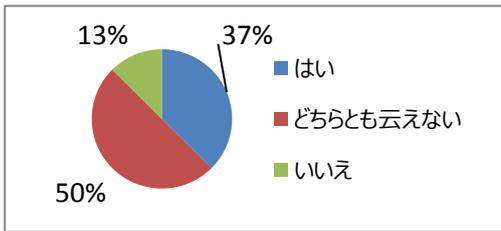


平成29年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果 (職員用)

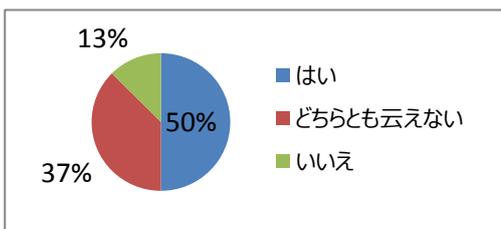
設問1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか



<意見>

- ・ 休憩スペースが時間帯によって狭く感じる場合がある
- ・ 指導スペースは確保されているが、余暇スペース等もう少し広さが必要
- ・ フロア内は十分だが、運動スペースや余暇スペースはもう少し広い方が良い
- ・ 個別スペースと運動スペースがもう少し広ければ、活動の幅が広がる
- ・ 運動スペースはもっと広い方が良い

設問2 職員の配置数は適切であるか



<意見>

- ・ 担当利用者の障害の度合いによって難しい状況がある
- ・ 通常時は適切だが、職員が休むと厳しい状態になってしまう
- ・ (精神的に)もう少し余裕が欲しい
- ・ 職員1名で2名の利用者の体制は手厚い
- ・ 送迎時が手薄になり、事故等の緊急時を考えると不安である

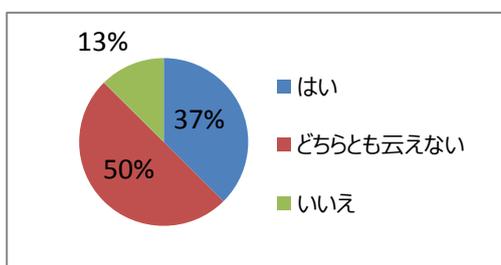
設問3 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか



<意見>

- ・ 今出来る最善の配慮は出来ている
- ・ 移動は問題なく出来ている
- ・ 現状では階段を使えない利用者の受け入れは出来ていない
- ・ トイレ内に手摺が必要である

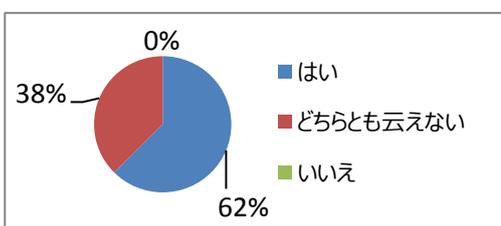
設問4 業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか



<意見>

- ・ 参画出来ているものの、振り返りと評価が曖昧である
- ・ ケース会議を行ない、関係職員同士で話し合いを実施できている
- ・ 計画・実施の時点で自由な意見交換できず、閉塞感を感じる
- ・ 会議は行われているものの、一部の職員の考え方に偏りがちと感じる
- ・ 他の担当者との共有・情報伝達が難しい

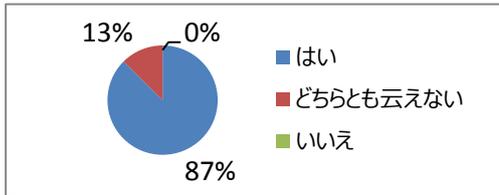
設問5 保護者向け評価表を活用する等により保護者の意向等を把握し、業務改善に繋げているか



<意見>

- ・ 調査はしていないが、保護者への聞き取り等で意向を把握している
- ・ 保護者の意向に沿った業務改善に努めているが、保護者の方々が納得して下さっているかどうか判らない
- ・ 保護者の意向は聞いているが、改善に繋がっているかは判らない
- ・ 日々しっかりと話しが出来ている方もいれば、出来ていない方もいる

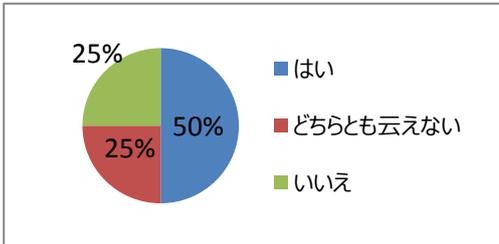
設問6 この自己評価表を、事業所の会報やHP等で公開しているか



<意見>

- ・ サニーデイ通信と一緒に各家庭に渡している
- ・ 前年度に職員用評価シートを開示していなかったことを知らなかった

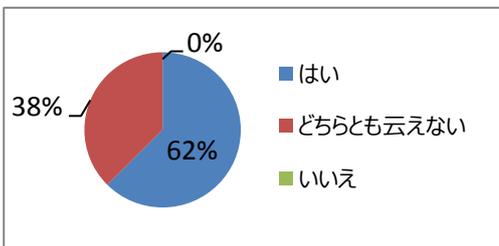
設問7 第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善に繋げているか



<意見>

- ・ 評価目的での来所者ではなく、業務改善に繋がられていない
- ・ 学校の先生や他の事業所職員の見学を受けている
- ・ 見学受入は積極的に行なっているが、保護者以外からの評価の機会は得られていない
- ・ 外部評価の機会は非常の少なく、客観的視点の必要性を感じている

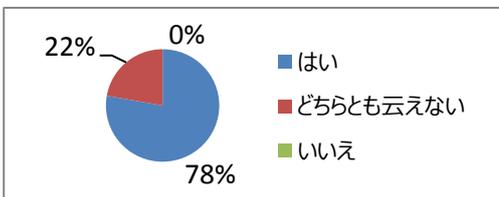
設問8 職員の資質の向上を行なう為に研修の機会を確保しているか



<意見>

- ・ 研修と職場での日常が繋がりにくく、職場環境の特殊性を感じる
- ・ 研修へ行き、全体会議時に全職員へ報告している
- ・ 積極的に研修会へ参加させてもらっている
- ・ 研修の機会はあるものの資質向上へ繋がる研修かどうかは疑問
- ・ 研修で学んだ内容を日常業務へ落とし込むことが出来ていない

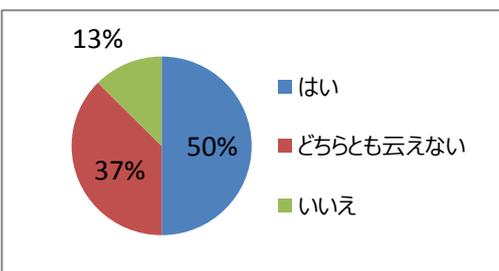
設問9 アセスメントを適切に行ない、子どもや保護者等のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか



<意見>

- ・ 保護者の意向を聞いた上で計画出来ている
- ・ 適切なアセスメントに関して自信がない
- ・ ニーズ調査は出来ているが、客観的な視点が不足している
- ・ 日々努力している

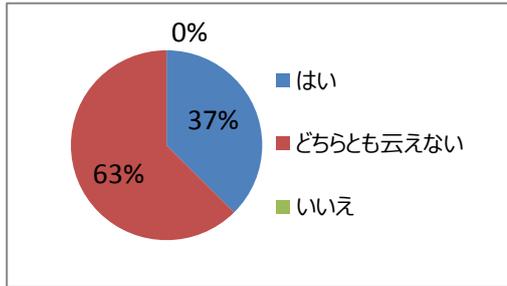
設問10 子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



<意見>

- ・ 評価出来ていないときが多い
- ・ 標準化されたアセスメントツールより個人の物差しで図っていることが多い
- ・ 適切なツールを使用しているか判らない
- ・ 日々の記録による判断のみで、標準化されたツールは使用していない
- ・ 本来、利用者の成長やその時々状況等の変化に合わせた尺度が必要だが、職員個人の経験や記憶によって図られることが目立つ

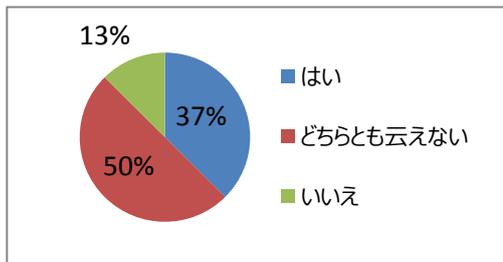
設問11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか



<意見>

- ・ 職員間で揃えておくべき日常的部分の支援においては関係者と一緒に考えられているが、それ以外は基本的に当日担当者の判断で決めている
- ・ 情報を聞き取りながら確認している
- ・ 行なわれている部分とそうでない部分がある
- ・ 形としてはチームとなっているが、良さが活かされていない
- ・ 個々のモチベーションの違いによって積極的な意見が出ない時は指示・依頼するだけになっている

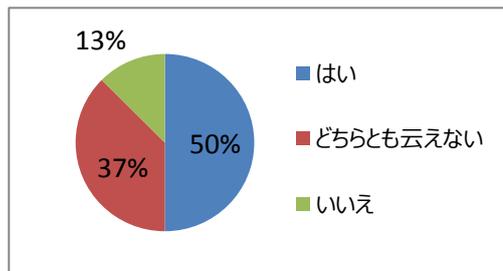
設問12 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか



<意見>

- ・ 新しいチャレンジが少なく、同じ流れになりがちである
- ・ 日課の流れは変化を付けているが、実施内容が同じになりがち
- ・ 考えてはいるがなかなか難しいときがある
- ・ プログラムの立て方をやっと判ってきたので現在も試行中である
- ・ 全体としては前日の記録を見て似たようにならぬよう工夫し、個人としては、試してみたいことを小出しにして日課にアクセントを入れている

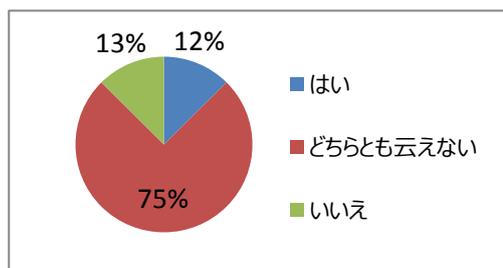
設問13 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



<意見>

- ・ 細やかには出来ていないが、平日は意識して設定している
- ・ 極め細やかには出来ていない
- ・ 休日には外出等を行なっている
- ・ 過ごす時間の長さによって細かい設定が必要になる利用者を担当したことによって大切さに気付くことが出来た
- ・ 一緒に活動する時間を調整している

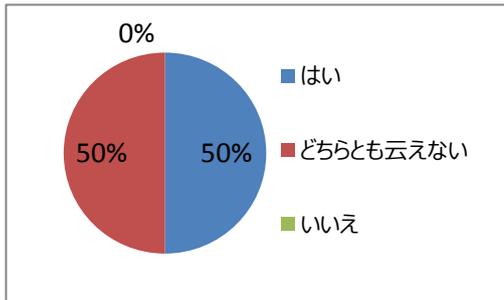
設問14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか



<意見>

- ・ 計画上は個別の課題がメインであり、集団(グループ)活動は日常の中で機会を伺いながら、可能な範囲で実施している
- ・ 集団で活動することがあまりない
- ・ 子どもの状況に応じて出来ているかどうか判らない
- ・ 普段の状況では出来ていない
- ・ 必要性は感じているが、配慮が多く困難な場合がある

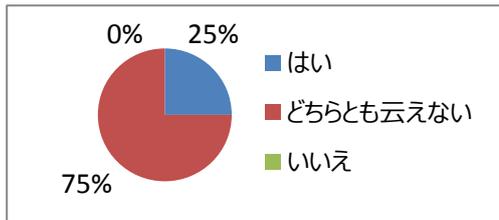
設問15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか



<意見>

- ・ 支援内容は各担当に一任されている
- ・ 開始前に打ち合わせ・伝達の時間が設けられている
- ・ 全体の打ち合わせは出来ているが、担当者間では必ず出来ているわけではない
- ・ 利用者に関する打ち合わせの必要性を感じていても出来ないことが多い
- ・ 個別には記録で確認し、必要に応じて直接実施責任者へ聞く

設問16 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない気付いた点を共有しているか



<意見>

- ・ 個別記録に残し、共有出来ている
- ・ 基本は出来ているが、全て出来ているわけではない
- ・ 支援に対して必要な事の振り返りなのか判らない
- ・ 不明点は上司に相談、支援内容は記録で共有出来ている
- ・ 出来ている人と出来ていない人の差が大きい

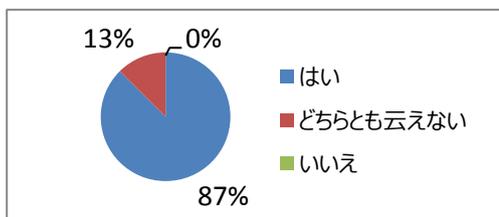
設問17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか



<意見>

- ・ 当日の記録としての意味はあるが、振り返り改善には繋がらないことが
- ・ 多いし、活用できていない
- ・ 努力している
- ・ 記録は細かくとっていると感じている
- ・ 誰が読んでも判るように正しく記録出来ているかは自信がない

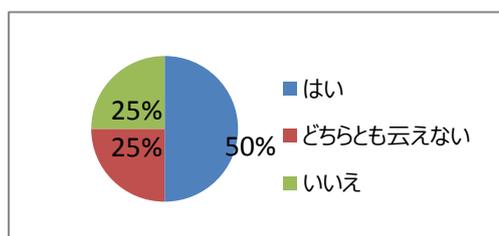
設問18 定期的にモニタリングを行ない、デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか



<意見>

- ・ 6か月に一度、必要に応じて修正・追加等の見直しを行なっている
- ・ デイサービス計画の見直しについては判らない
- ・ 半年に1度面談を行ない、書面での報告を受けている

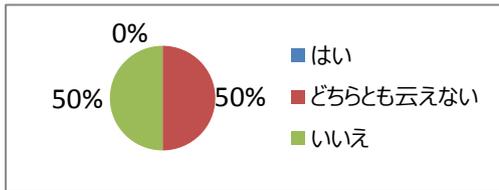
設問19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行なっているか



<意見>

- ・ ガイドライン・総則をまだ見ていない
- ・ 意識して組み合わせているつもりだが、自分の苦手な部分は頻度も少なく変化に乏しいと感じている
- ・ 複数組み合わせる支援が出来ているか判らない
- ・ 諸活動をバランスよく取り入れるように気を付けている

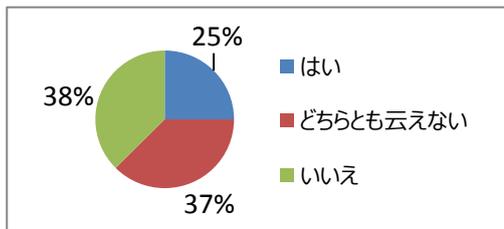
設問20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか



<意見>

- ・ サービス担当者会議は、ほぼ行われていない
- ・ 会議があれば児童発達管理責任者が出席している

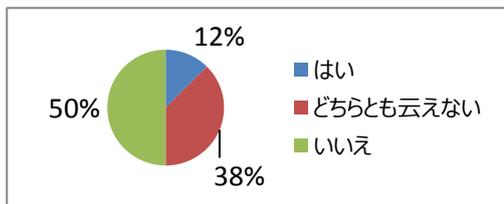
設問21 学校との情報共有、連絡調整を適切に行なっているか(行事予定・下校時刻、送迎時対応等)



<意見>

- ・ 学校の先生から上手く情報を聞き取れずにいる
- ・ かなり少ないと考える
- ・ 気になること・知りたい情報は積極的に聞くようにしている
- ・ 様子は聞くがいつも返答は同じ
- ・ 情報を得、共有する為にはこちらの姿勢も考えることが必要

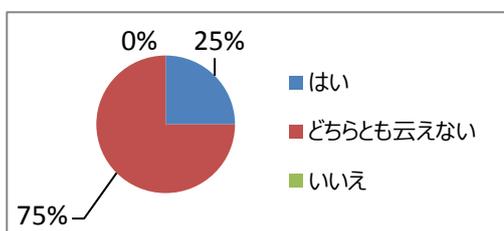
設問22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか



<意見>

- ・ 家庭に連絡までは出来ている
- ・ 通院先を知っている利用者もいれば知らない利用者もいる
知っている場合でも担当医までは知らない
- ・ 保護者から話しを聞くだけになっている

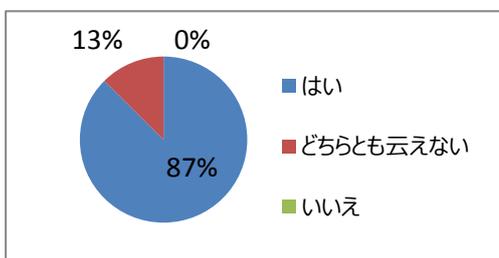
設問23 就学前に利用していた保育所や幼稚園等との間で情報共有と相互理解に努めているか



<意見>

- ・ より良い支援のためもっと幼少期の情報が必要と感じる
- ・ 相互理解の為の努力が必要だと思う
- ・ 保護者からの情報に頼っている状況である
- ・ 担当者に該当者なし

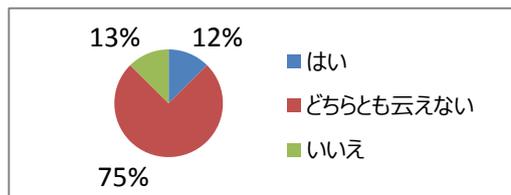
設問24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合 それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか



<意見>

- ・ 情報は提供しているが、それが活かされる形になっているかは疑問
- ・ 資料を作成し、渡している

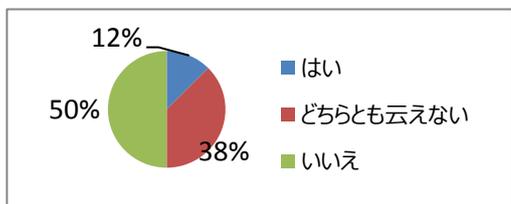
設問25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか



<意見>

- ・ 助言・研修を専門機関から受けられる機会があれば良いと感じる
- ・ 学校・他事業所と比べ、支援センターとの関わりは薄い
- ・ 見学等に行っている
- ・ 他の事業所の方と関わることがない

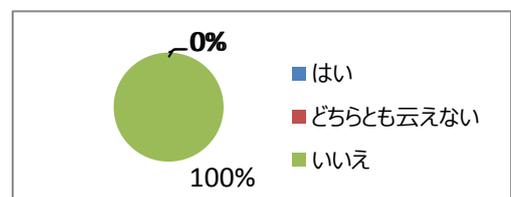
設問26 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか



<意見>

- ・ 外出活動やグループ活動で機会がある
- ・ 全くない
- ・ 少ないが外出活動等を地域参加と捉えている
- ・ あえて交流という形では活動していないが、外出活動において多少なりとも同じ空間を共有する機会はある

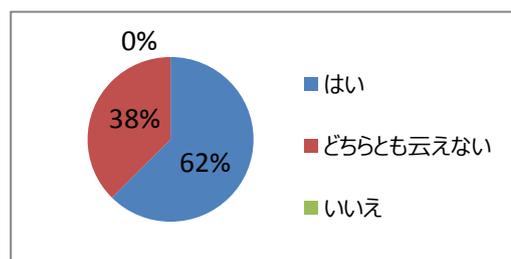
設問27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか



<意見>

- ・ 参加していない

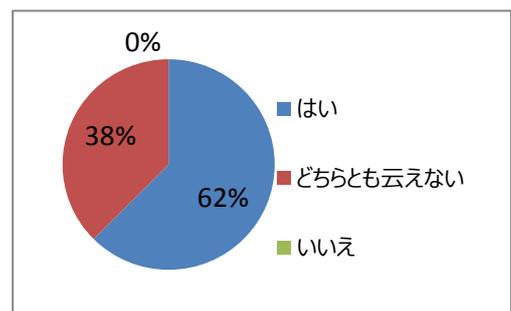
設問28 常に子どもの状況を保護者と伝え合い、発達状況や課題について共通理解を持っているか



<意見>

- ・ 連絡帳は活用できているが、送迎時に伝える量・時間は不足している
- ・ 上手く支援が出来なかった時にも報告し、保護者からのアドバイスを頂くようにしている
- ・ 課題内容や様子は伝えているが、共通理解は出来ていない
- ・ 常に努力している
- ・ 状況を伝えることは出来ていると思う

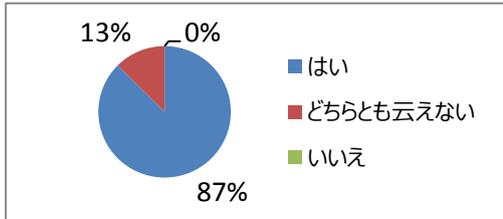
設問29 保護者の対応力向上の観点から、ペアレントトレーニング等の支援を行なっているか



<意見>

- ・ 管理責任者に相談しながら支援をしている
- ・ 具体的な言葉や表情等のわかりやすいサインがあったときは支援しているが、細かく気配り・フォローは出来ていない
- ・ トレーニングまでは出来ていない
- ・ 個人としては行なえていないが、管理責任者と相談してアドバイスすることはある
- ・ 日々真摯に努力するようにしている

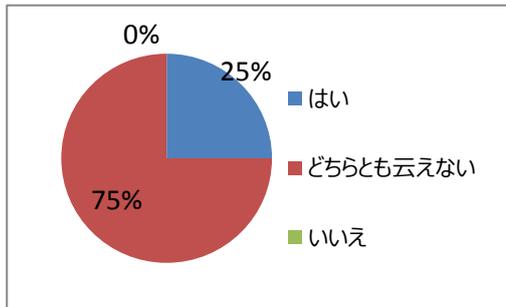
設問30 運営規程や支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか



<意見>

- ・ 支援内容は伝えているが、利用者負担等については判らない
- ・ 特に個別支援内容や日常支援のポイントについて説明している
- ・ 出来るだけ伝えるようにしている
- ・ 運営規程、利用者負担等については契約時に必ず口頭・書面で説明している

設問31 保護者からの子育ての悩み等に関する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか



<意見>

- ・ 相談は受けているが、必要な支援まで行なえているか判らない
- ・ 管理責任者に相談しながら支援している
- ・ 保護者の価値観や大切にしていることは汲み取れるが、助言までは難しい
- ・ まだ相談を受けたことがない
- ・ 保護者にとって知りたい情報や支援が適切に出来ているかどうか判らない

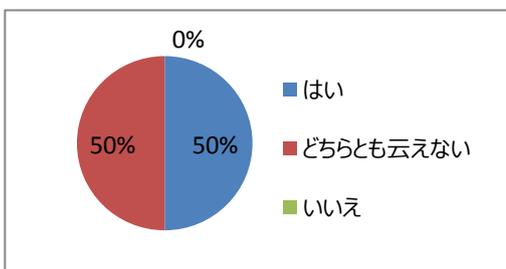
設問32 父母の会の活動を支援したり保護者会を開催する等、保護者同士の連携を支援しているか



<意見>

- ・ 出来ていない

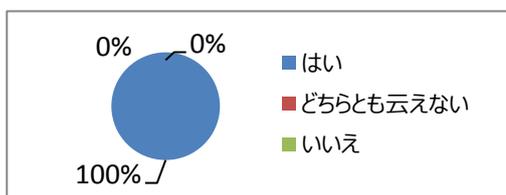
設問33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えるとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



<意見>

- ・ 書面上の体制は整っている。現実には保護者と直接話した職員や連絡帳により各自判断し、必要に応じて管理責任者が指示を出す
- ・ 苦情があるのかどうか判らない
- ・ 個々ではなく管理責任者が対処している
- ・ これまで大きな苦情はなかった
- ・ 謙虚に受け止め、早めに対応すべく周囲へ相談し、行動している

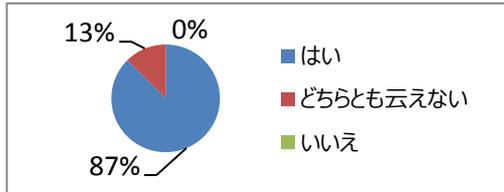
設問34 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか



<意見>

- ・ サニーデイ通信を配付している
- ・ その都度行事予定を伝えている
- ・ 時代に合った情報発信も必要と感じている
- ・ 連絡体制の整備が出来ていない

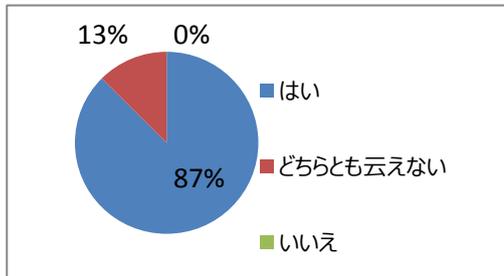
設問35 個人情報に十分注意しているか



<意見>

- ・ 利用者との会話の中で、個人情報に該当する内容が出ることもある
- ・ 重要な事柄については十分注意している
- ・ 注意して取り扱っている
- ・ 書類等への配慮はされているが、日常の中での細かい判断が難しい

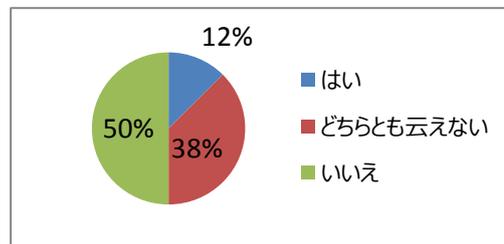
設問36 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮をしているか



<意見>

- ・ 配慮の努力はしているが行き届かない場合がある
- ・ 写真等を用いて、本人に判りやすく伝えている
- ・ 努力している、難しい場合は周囲へ相談してアドバイスをもらう
- ・ 共通認識を持つことが必要
- ・ 利用者への配慮はほぼ出来ていると思うが、保護者に対して同じようには出来ていない

設問37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行なっているか



<意見>

- ・ まだ地域の方と交流は出来ていない
- ・ ほぼない
- ・ Xmas会へ近隣の方を招待した
- ・ 災害時等を想定すると地域連携は重要なので挨拶等を心掛けている

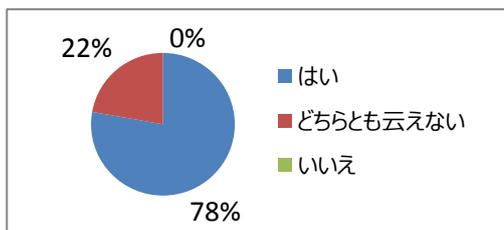
設問38 緊急時・防犯・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか



<意見>

- ・ 周知・説明まで出来ているかどうかは判らない
- ・ 作成されたマニュアルは、確認出来る位置に置かれている
- ・ 地域性も関係しているかと思うが、意識は低いと感じる
- ・ 防犯に関する取り決めが不足している

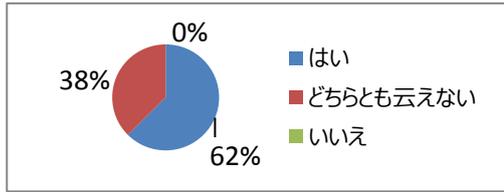
設問39 非常災害発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行なっているか



<意見>

- ・ 訓練と改善を重ねて実施できている
- ・ 避難訓練は実施しているが、女性職員が全て対応出来る工夫が足りない
- ・ 地震以外の想定は訓練されていない
- ・ もう少し回数を増やしても良いかと思う

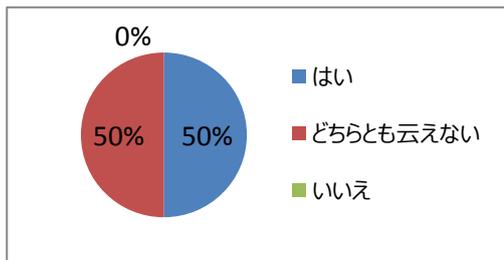
設問40 虐待防止の為、職員の研修機会を確保する等の適切な対応をしているか



<意見>

- ・ まだ研修に参加したことはない
- ・ 専門的な研修に行けたらと思う
- ・ ポスター等に注意喚起されているが、研修は少ない
- ・ 定期的にチェックし、内容について勉強する機会がある

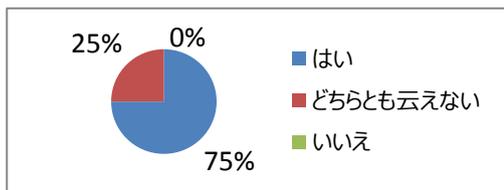
設問41 どのような場合に止むを得ず身体拘束を行なうかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明した上で放課後等デイサービス計画に記載しているか



<意見>

- ・ 身体拘束せず対応出来る事前配慮の徹底を心掛けている
- ・ 他害に至りそうな場合にはとっさに利用者の動きを止めてしまっている。未然防止の原則は理解しているが、それが出来ない時がある
- ・ 十分な記載・説明については判らない
- ・ 身体拘束を行わなければならない状況がほとんどない
- ・ 混乱してどうにもならない時にすることがあるが、それを保護者へきちんと伝えられているかが判らない

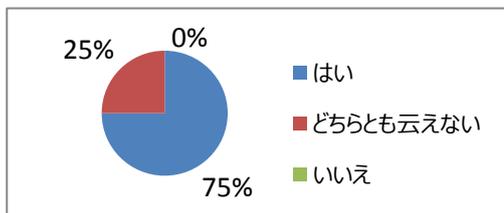
設問42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



<意見>

- ・ 医師ではなく保護者の指示を中心に取り決めを行なっている
- ・ 指示書に基づく対応かどうか判らない
- ・ 保護者から苦手な物やアレルギーを聞いている
- ・ 食べ物アレルギーをもつ利用者を現在担当していない

設問43 ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか



<意見>

- ・ 作成しているが、意識はまだ低い
- ・ そのような場合は必ず作成している
- ・ 職員が判りやすい場所に設置してある
- ・ 作成後に全体周知し意識付けを行なっている

まとめ

全体的に見て、「保護者の方々が持つサニーデイの印象」と「職員が実際に現場で働く上で感じる実感」に大きな差があるような結果が出ています。当然ながら保護者からは控えに、職員は内情を辛辣に・・・の構図になるものですが、実態として職員間コミュニケーションを中心とした、保護者の方々には見えない部分における業務改善点が山積みと感じさせる結果でした。これらを元にさらなる改善を図り、“全ては見えない”保護者との見解が本当の意味で似通う結果が得られるよう努力していくことが求められています。